

## 世界の主な地震

平成 26 年（2014 年）9 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。



図 1 平成 26 年（2014 年）9 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

- \* : 震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による（2014 年 10 月 2 日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素は気象庁による。
- \*\* : 数字は、表 1 の番号に対応する。
- \*\*\* : マグニチュードは表 1 の mb（実体波マグニチュード）、Ms（表面波マグニチュード）、Mw（モーメントマグニチュード）のいずれか大きい値を用いて表示している。

表1 平成26年(2014年)9月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Ms	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北 西	遠 地
1	09月04日14時33分	S21° 23.7′	W173° 15.4′	12			6.0	トンガ諸島			
2	09月06日15時53分	S26° 37.5′	W114° 27.3′	10	6.1			イースター島			
3	09月10日11時46分	S0° 11.1′	E125° 10.3′	30			6.2	モルッカ海南部			
4	09月17日15時14分	N13° 45.3′	E144° 23.8′	137			(6.7)	マリアナ諸島		○	○
5	09月24日20時16分	S23° 51.2′	W66° 33.1′	189			6.2	アルゼンチン、フ ワイ州			
6	09月25日18時13分	S9° 28.7′	E156° 23.4′	10	6.0			ブーゲンビルー ソロモン諸島			
7	09月26日02時51分	N61° 57.1′	W151° 47.0′	103			6.2	米国、アラスカ州 南部			

- ・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による(2014年10月2日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Msの欄に括弧を付して記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- ・地震発生時刻は日本時間 [日本時間=協定世界時+9時間] である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報(NWPTA)(地震・火山月報(防災編)2005年5月号参照)を発表したことを表す。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。

# 9月17日 マリアナ諸島の地震

2014年9月17日15時14分(日本時間、以下同じ)に、マリアナ諸島の深さ137kmでMw6.7の地震が発生した。この地震は太平洋プレート内で発生した。発震機構(気象庁によるCMT解)は太平洋プレートの傾斜方向に圧力軸を持つ型である。

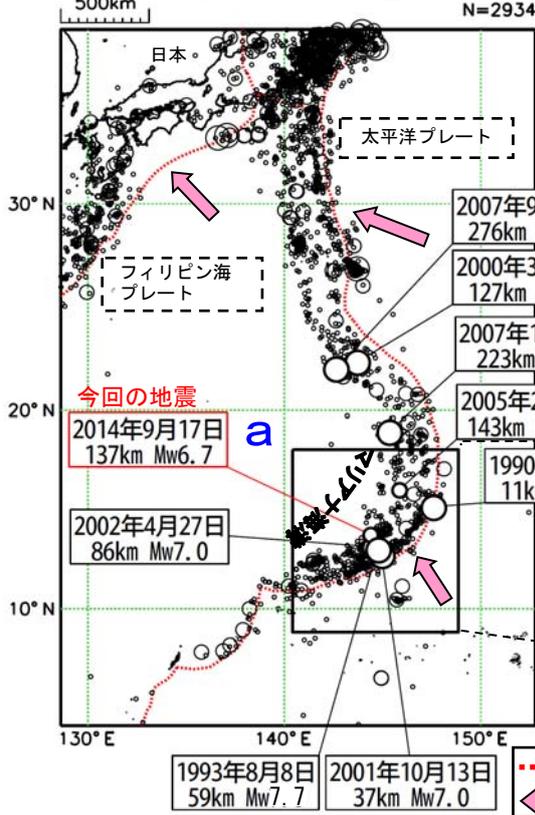
気象庁は、今回の地震により、同日15時35分に遠地地震に関する情報(日本国内向け、「この地震による津波の心配はありません。」)を発表した。

1980年1月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域c)では、M6クラスの地震が発生したのは、今回の地震を含め2回目である。

また、今回の地震の震央周辺(領域a)では、1993年8月8日にMw7.7の地震が発生し、日南市油津で46cm(平常潮位からの最大の高さ)など、日本の太平洋沿岸で津波を観測した。

震央分布図

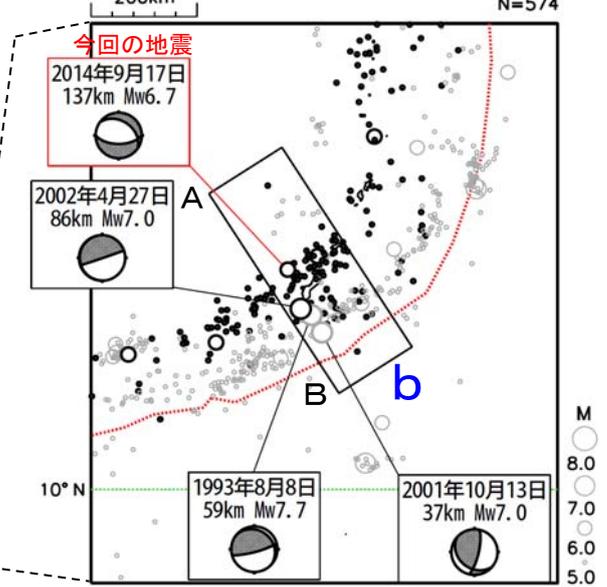
(1980年1月1日~2014年9月30日、  
深さ0~300km、M≥5.0) N=2934



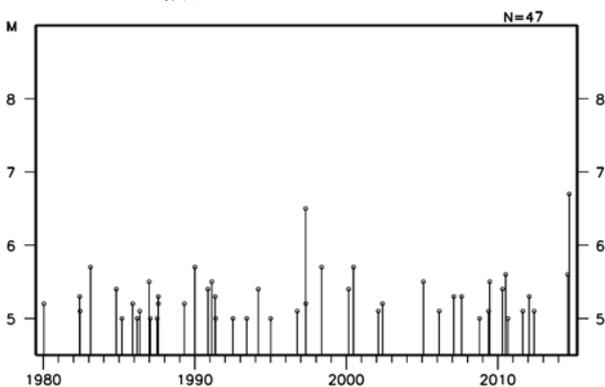
領域aの拡大図

(深さ0~300km、M≥5.0)

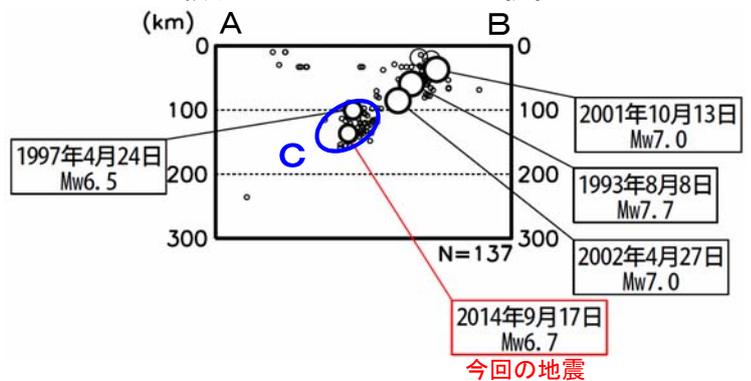
深さ60km以深の地震を濃く表示  
図中の発震機構はCMT解



領域c内のM-T図



領域b内の断面図 (A-B投影)



※本資料中、今回の地震の発震機構とMwは気象庁、その他の発震機構とMwはGlobalCMTによる。その他の地震の震源要素は、米国地質調査所(USGS)による。プレート境界の位置と進行方向はBird(2003)\*より引用。

\*参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.